◆見積もりの明細を確認

建築業者に見積もりを出してもらったときにどのようなことに注意すればよいのでしょうか。見積もりといっても事細やかな明細を出してくれる見積もりを出してくれる建築業者もいれば、明細はなく一式として見積もりを出す建築業者がいます。

家を建てる機会というのは人生の中でもそうそうあることではないので、見積もりを出してもらってもわからないことが多くわかりにくいものです。

ですが理想の家を建てるためには細かいところまでしっかりした説明をしてくれる建築業者でないと後々のトラブルの原因となってしまいます。そのため見積もりに明細がなく一式になっていても細かく明細を出してもらうようにしましょう。

建築業法の第20条には「建設業者は、建設工事の請負契約を締結するに際して、工事内容に応じ、工事の種別ごとに材料費、労務費その他の経費の内訳を明らかにして、建設工事の見積りを行うよう努めなければならない。

建設業者は、建設工事の注文者から請求があつたときは、請 負契約が成立するまでの間に、建設工事の見積書を交付しな ければならない。」とあります。

このように内訳といった細かな内容の見積もりを求められるなら出す必要があるということが法律で決まっているのです。

わからないからといってすべてをお任せして、一式になっていても何も疑問を持たないままでは理想の家を建てることができないどころか、もしかしたら必要のない費用まで請求されてしまう可能性まであるのです。

わからない部分があれば説明を求めるようにしましょう。そこで誠実な回答を得ることができるのであればその建築業者は信頼できると思ってもよいかもしれません。

建築業者もあとからもめることは望みません。予めお互いに納得してから工事を始めることで建築業者も施主(家をを注文した人)との信頼関係を築き気持ちよく家を建てることができるのです。

家を建てるための見積もりはとても量が多くなってしまいますが、そのすべてが理想の家を建てるために必要なものです。そのためにも見積もりをしっかり確認してから家を建てるようにしたいですね。

◆見積もりの大切さ

家を建てる時、どのような家を建てるにしても見積もりを出 してもらうことになります。家を建てるとなる実際に品物が ある商品を購入するのとは違い、これからどのような家を建 てるかによって値段も大きく変わってきます。

もちろん工事中に変更したい部分や追加したい部分などい ろいろ出てきて最終的には全くの見積もり通りの値段で済 んだということは難しいかもしれません。

やはり、追加や変更の見積もりを出してもらい大体の金額を 知ることができないとローンやこれから生活をしていくた めの費用など計画を立てることもできません。

そのためにも建築業者には予め見積もりを出してもらい、どのような家を建てることになるのか、そして予算内に収まることができるかを考えなければなりません。

そしてその建築業者が信頼できるかどうかをみるためにも 見積もりを確認するというのは大切なことです。 家を建てることは人生において 1 度、もしくは多くても 2 度ほどになるのが一般的ではないでしょうか。

ですから家を建てるための知識は建築に携わる人でない限り知らないことだらけです。正直見積もりの内容を見たとしてもその値段が適切なのか、詳細を見てこの部分は必要なのか、過不足ないのかなんてことはわかりづらいものです。

だけれども家を建ててしまった後に失敗したなんてことになっても、建て替えることは普通、できません。後悔したまま住むことになってしまうのです。

そうしたことがないようにするためにも、見積もりの段階から細かく見積もりをだしてもらい、わからない部分があってもしっかりとした説明をしてもらうことが大事なことです。

もしこの部分でしっかりとした説明がない建築業者だったり、素人だからわからないだろうといった態度で説明を適当

にしてしまうような建築業者を選んでしまうと後々のトラブルのもとにもなりかねませんので注意が必要です。

わからないことばかりだからこそ、しっかりとした説明をしてもらいお互いが納得できる家を建てる為にも見積もりは大事なものなのです。

大手ハウスメーカーの見積もりには明細がありません。 1式でいくらという資金計画が工事見積もりの代わりです。

大手ハウスメーカーというブランドやその住宅商品を見て 買う人はそれでもいいのですが、あなたが欲しい家をあなた の予算で建てたい人や自由設計の注文住宅を建てたい人は きちんとした見積もりと明細が必要ということです。

建築サポート 高井